

# 知恵・水害文化の発信

## 知恵・水害文化の発信

### 目的

水害経験等の情報を収集・発信するとともに出前講座等により、地域の水害に備える意識の高揚を図る。

### これまでの聞き取り調査の実施状況

H21年度からH24年度までで、24の集落で水害経験者から水害に関する知恵・文化の聞き取り調査を行った。平成23年度第4回協議会以降には5集落で聞き取り調査を実施した。(右の一覧表の中の青色で着色した集落)

No.	市町名	地区名	実施日	場所	対象人数
1	近江八幡市	小田町	H21.8.4	近江八幡市小田町自治会館	4名
2		野村町	H21.8.5	野村町集落センター	10名
3		竹町	H21.7.23	竹町公民館	5名
4		鷹飼町	H21.7.24	鷹飼町自治会館	4名
5		元水茎町	H22.10.27	水害経験者自宅	1名
6	旧安土町	水茎町	H22.11.10	水害経験者自宅	1名
7		安養寺町	H23.12.7	水害経験者自宅	2名
8		倉橋部町	H23.12.7	水害経験者自宅	1名
9		下豊浦	H21.7.29	下豊浦区事務所	2名
10		常楽寺	H21.7.29	常楽寺区事務所	1名
11	東近江市	佐生町	H21.8.5	佐生草の根ハウス	4名
12		栗見新田	H21.8.6	栗見新田区長事務所	3名
13		葛巻	H22.2.10	東近江市葛巻公民館	10名
14		小川	H22.12.3	水害経験者自宅	1名
15		種	H23.1.16	種町草の根ハウス	1名
16	日野町	奥町	H23.11.10	奥町構造改造センター	1名
17		小幡	H23.12.19	小幡公会堂	4名
18		妹町	H24.11.16	水害経験者自宅	1名
19	竜王町	佐久良	H21.8.10	佐久良会議所	1名
20		鳥居平	H21.8.10	鳥居平会議所	1名
21		木津	H23.3.7	木津会議所	4名
22	鷺川	弓削	H21.8.19	竜王町弓削公民館	4名
23		小口	H21.8.3	竜王町小口公民館	2名
24		鷺川	H23.6.1	竜王町鷺川公民館	3名

### 平成23年度の聞き取り調査結果

地区名	主な水害に対する知恵・文化
安養寺町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日野川の洪水敷まで水が来たら警戒していた。</li> <li>・上野神社が集落の避難場所だった。</li> <li>・明治7年時点で7割程の人が高台に移転していたが、この水害後（明治29年）にはほとんどの人が移転した。</li> </ul>
倉橋部町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お寺が避難先になっていた。</li> <li>・大雨が降ると、各集落で担当になっている箇所を担当の人が見回りに行った。</li> <li>・昭和28年9月25日午後11時5分、新巻で日野川の堤防が約100メートルに渡って決壊した。収穫前の稲があった田畑や野原は水浸し、集落にも水が流れてきた。</li> <li>・堤防決壊など、重大事件が起こったときは早鐘を鳴らして集落の中を歩いた。</li> </ul>
小幡町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近でも警報が出たら水防団は集会所に待機し、どこか危険箇所があるようなら警戒にあたっている。</li> <li>・避難場所が公会堂になっているが、低い場所にあるため、水害時の避難場所として適切かどうか、疑問がある。</li> </ul>
奥町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奥町には先人がつくった霞堤がある。</li> <li>・愛知川の右岸側には集落は無く、奥町の田んぼのみだったため、先人が右岸側の堤防を低くして右岸が溢れるようにした。</li> </ul>
鷺川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鷺川の集落では、昔から水害の経験により、30cm程かさ上げしている家が多い。</li> <li>・祖父川と惣四郎川にはさまれた場所にある田んぼは、「よく水が混む」ことから、「こみしょ」と呼ばれている。</li> </ul>

### ホームページでの発信

聞き取り調査で得られた水害情報や水害に対する知恵・文化を滋賀県の水害情報サイトで公開し、水害情報マップを追加した。



HPアドレス「<http://www.pref.shiga.jp/h/ryuiki/hanran/>」

【水害情報サイト】

### 今後の予定

平成24年度も引き続き、水害情報および水害に関する知恵・文化の聞き取り調査を実施する。聞き取り結果をHPで公開する。また、これらの情報を出前講座等の機会を利用して地域に伝える。

近江八幡市  
小田町



東近江市  
佐生町



日野町  
木津



竜王町  
小口



【水害情報マップ】

# 出前講座の開催 ( 1 / 3 )

## 出前講座の開催

### 目的

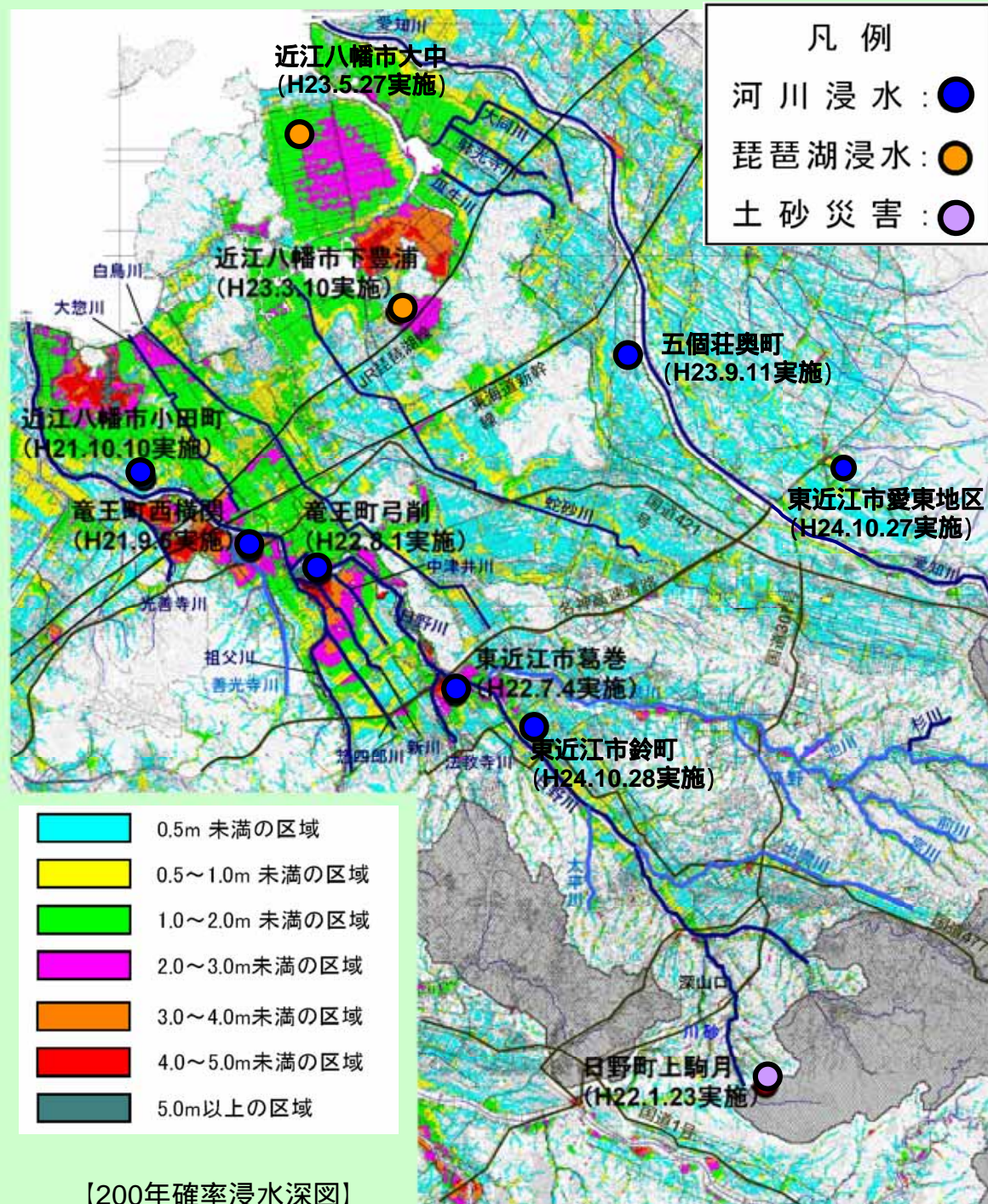
水害経験者の減少で地域の水害リスクが伝わらず水害に備える意識が低下している。そのため地域の経験情報を収集し、普及させる。また、出前講座や水害図上訓練を実施し、水害に備える意識を高揚させる。

### 出前講座の実施状況

出前講座は、河川浸水、琵琶湖浸水、土砂災害の3つの災害区分から集落の特性に合った内容を実施した。H21年度からH23年度までの出前講座を実施した集落を以下の浸水深図上に示す。

平成24年度では、東近江市愛東地区と東近江市鈴町で出前講座を実施した。

出前講座実施集落  
(H21年度からH24年度)



[200年確率浸水深図]

### 出前講座マニュアル

県・市町の担当者1人1人が、地域の状況に対応した適切な内容をわかりやすく説明できるよう、出前講座マニュアルを作成した。

出前講座マニュアルの内容

1. 出前講座の位置付けと目的
2. 出前講座の準備
3. R-DIG (水害図上訓練) の開催
4. 実施時の留意点
5. 実施後のフォローアップ

出前講座実施状況

- ・ 国、県10
- ・ 市町0

スライド	話す内容
37. 避難の際のポイント 避難の際のポイント ・ 車での避難は控える ・ 運動靴と杖、ロープ ・ 避難の時は隣に声かけ ・ 普段から避難経路や避難場所を確認 ・ 逃げ遅れたら近くの高い建物に避難	【参考説明文】 雨が降ると浸水が起きて通りにくい、そういう危険なところもあるかも知れないので、今一度そういうところも確認していて、どういった経路を通って、どこに避難するのかということを含め一度確認して頂きたいなと思う。 そして最後、これが仮用町の水害でお話ししたように、逃げ遅れたら近くの高い建物に避難する。避難場所に避難すればいいという場合もあるが、そうではなく、近くの高い建物に避難するという方法も必要な場合もあるというものの頭の中に入れておきたい。
38. 避難判断力を高めよう。 避難判断力を高めよう！	【要点】 ・ 水平避難を行うか、垂直避難を行うかについて仮用町の事例を用いて説明する。 【参考説明文】 避難判断力を高めようということです。仮用町では浸水80cmのときに避難中に犠牲に。他の町営住宅の方は2階へ逃げて助かった。これからは浸水の状況や自分の自宅の状況によって浸水前に早めに避難する必要があるところと、そうではなくて、備えをした上で2階以上の高いところに避難するというような避難の判断を、どうしたらいいのかということを高めていきたいと思う。
39. 水深・流速と避難行動の関係 水深・流速と避難行動の関係	【要点】 ・ 水深・流速と避難行動の関係から、いつでも避難できるというわけではないこと及び水平避難、垂直避難の判断について説明する。 【参考説明文】 いつでも避難ができるということはない、こちらに流速の流速という、流れる早さ、それと水深、これは身長と水深の比、こちらの比は、これよりも上になると、安全に避難ができないことを示したものを。

3.2 R-DIG (水害図上訓練) の流れ  
R-DIG (水害図上訓練) の流れについて、以下のフロー図に示します。

(1) 図上訓練準備  
白地図に河川、道路、水田等の情報を掲載し、水害図上訓練の準備を行います。

(2) 水防用地図の作成  
避難時に重要な箇所や危険となる箇所を参加者同士で話し合いつつ、地図に書き込み、水防用地図を作成します。

(3) 避難時における課題と対応の検討  
避難時における課題や課題に対する対応策について参加者同士で議論します。

(4) 成果発表  
各班で話し合った課題や対応策を発表し、全参加者で共有します。

図 10 R-DIG (水害図上訓練) フロー図

# 出前講座の開催 ( 2 / 3 )

## 出前講座の開催

### 出前講座のアンケート実施状況

国と県の出前講座実施による地域住民の水害・土砂災害に備える意識の高揚に関する効果の把握、また、実施した出前講座の課題を把握するために、住民向け出前講座では実施前後にアンケートを実施した。

#### アンケート結果

- ・個人や地域で水害対策を行うべきという意識が高揚している。
- ・水害は、身近な災害であるという認識を持った方が増加している。

#### ご意見・ご感想

- ・今後も継続があればよいと思う。
- ・改めて水害の怖さがわかった。自主防災をもっと進めていきたい。
- ・子どもなど被害を受けていない人の水害に対する理解が必要である。
- ・土石流のシュミレーションも重ねるとどうなるのか？実際の自治会で実地のシュミレーションも良いと思った。
- ・一番身近な災害の割に認識がほとんどありませんでした。今後、地位でもそういう訓練や講習会をひらいた方がよいと思いました。

【これまでの実施集落一覧】

市町名	地区名	実施日	実施場所	対象人数
近江八幡市	小田町	H21.10.10	小田町自治会館	40名
	下豊浦	H23.3.10	下豊浦草の根区民会館	30名
	大中	H23.5.27	大中町公民館	30名
東近江市	葛巻	H22.7.4	葛巻町集会所	40名
	五個荘奥町	H23.9.11	奥構造改善センター	60名
	愛東地区	H24.10.27	愛東コミュニティセンター大ホール	150名
	鈴町	H24.10.28	鈴町公民館	12名
日野町	上駒月	H22.1.23	上駒月集会所	30名
竜王町	西横関	H21.9.6	西横関集落センター	60名
	弓削	H22.8.1	弓削ふれあいプラザ	100名

### 今後の予定

市町が主体となった出前講座を各市町1集落以上で開催する。(国・県は資料作成等の支援を行う。)

### あいとう防災講演会

#### プログラム概要

- ・災害時被災地支援活動：自衛隊 近江八幡地域事務所 宮本所長
- ・水害リスク：滋賀県立大学 佐々木氏
- ・愛知川治水対策：滋賀県東近江土木事務所 村地副主幹
- ・愛東地区の水害リスク：滋賀県流域政策局 中西主査

#### 今後の予定

- ・12月13日(木)愛東地区自治会班長会



### 鈴町出前講座

#### 説明概要(市担当者異動のため、今回は県で実施)

- ・近年の水害
- ・鈴町周辺の水害リスク
- ・日野川ダムの放流
- ・防災情報の活用

#### 今後の予定

- ・水害経験者をご紹介いただき、聞き取り調査を行う。



# 出前講座の開催 ( 3 / 3 )

## 出前講座の開催

### 【参考】小学校出前講座の内容

平成24年度に実施した小学校での出前講座について、以下の一覧表に整理する。

学校	日付	主な内容
近江八幡市立馬淵小学校 (4年生) H21～実施	H24.9.28	自然観察
	H24.10.3・10.5	川と地域のかかわり
	H24.10.12	通学路危険箇所調査
	H24.10.19	通学路危険箇所マップ作成
	H24.10.26	水害経験者の語り(録画観賞)
	H24.11.7	水害体験者への質問
	H24.11.13	避難経路探し
	H24.11.20	避難経路地図作成
	H24.11.28	馬っこフェスティバル (全校生徒への発表)
H24.3学期	老人会へのヒアリング	
近江八幡市立桐原東小学校 (5年生) H22～実施	H24.10.19	自然観察
近江八幡市立桐原小学校 (4年生) H23～実施	H24.11.8	水害経験者の語り
	H24.11.9	通学路危険箇所調査

### 自然観察・流れの中の歩行体験

#### 内容

白鳥川に入って生物観察を行うことで、川を身近に感じるとともに流れの中を歩くことの大変さを体験し、水害時の避難の大変さを実感してもらう。



【白鳥川自然観察】

### 川と地域のかかわり

#### 内容

学校周辺の水害履歴や白鳥川や日野川の河川改修、水利用、河川環境について学び、川や水害を身近に感じもらう。



【川と地域のかかわりの講義】

### 通学路危険箇所調査

#### 内容

通学路の方面ごとにグループに分割し、各グループで柵のない水路や段差、マンホール等、水害時に危険箇所となりうる位置を調査し、現地写真とともに記載する。



【危険箇所調査時の写真】

### 子どもハザードマップ作成

#### 内容

A1の白地図に川や水路等を着色し、地域の特性を理解するとともに通学路危険箇所調査結果(現地写真、危険な理由等)を添付してグループごとにマップづくりを行う。

作成したマップを発表し、危険箇所をみんなで共有する。



【子どもハザードマップ作成】

### 水害経験の伝承

#### 内容

学区内にお住まいの過去に水害を体験された方から、過去の水害の状況や備える知恵を学ぶ。



【水害経験の伝承】

### 避難経路の検討・マップ作成

#### 内容

作成した子どもハザードマップを基に現地を確認し、家から学校までの避難経路や避難時に目印となるもの(標識、信号等)を調査する。

グループごとの避難経路の調査結果を踏まえて、A1の白地図に避難経路を示したマップを作成する。



【避難経路検討調査】

# はん濫シミュレーション結果の公表・普及

## はん濫シミュレーション結果の公表・普及

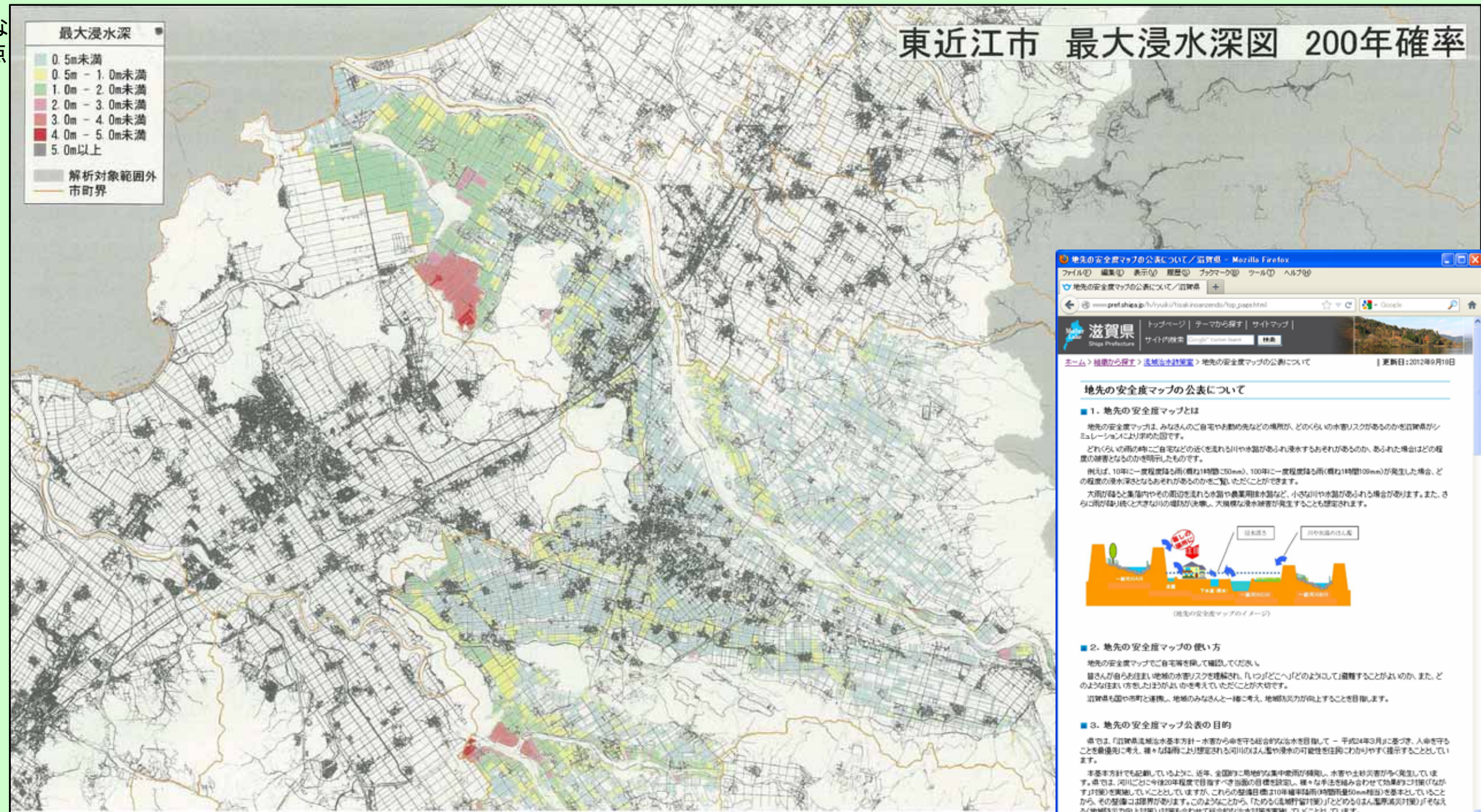
### 目的

「地先の安全度マップ」を公表し、県民が自宅付近の水害リスクを認識して頂くことにより、避難場所・経路・タイミングの検討、さらに、個人の不動産取引や転居・建て替え等の際の水害リスクに応じた土地利用や住まい方に役立てて頂く。

### 地先の安全度マップ

大河川だけでなく中小河川や農業用排水路など身近な水路の氾濫も考慮し、流域内の各地点における降雨規模別の浸水深や流体力、家屋水没等の被害発生頻度を地図で表現した。

マップの種類	内容
浸水深図	大雨が降った場合に想定される浸水深さを表した図
流体力図	大雨が降った場合に想定される水の流れの強さを表した図
被害発生確率図	家屋が存在した場合に生じる被害の起こりやすさを表した図



【東近江市 最大浸水深図】

【地先の安全度マップ公表HP】

「[http://www.pref.shiga.jp/h/ryuiki/tisakinoanzendo/top\\_page.html](http://www.pref.shiga.jp/h/ryuiki/tisakinoanzendo/top_page.html)」

### 今後の予定

地先の安全度マップを避難判断資料の検討等に活用する。